

災害が起こる前に対策をしよう！

1週間分を目安に備蓄品を用意する

非常食の備蓄と併せて、普段から食料や飲料、日用品などを多めに買い置きしておき、消費した分を買い足して、必要な量を無理なく備蓄する「ローリングストック」を実践してみましょう。



非常用持ち出しバッグを準備する

生活に必要な物をリュックサックに入れ、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。大雨でも中身が濡れない防水仕様のリュックサックがおすすめです。



チェックリスト

- ☐ 水（1人1日3ℓが目安）
- ☐ 食料（火や電気を使わなくても食べられる物）
- ☐ 貴重品（現金、通帳、印鑑、マイナンバーカード）
- ☐ 救急用品（ばんそうこう、消毒液、お薬手帳、常備薬）
- ☐ 衛生用品（口腔ケア用品、携帯トイレ、生理用品）
- ☐ 衣服・下着（夏用、冬用で入れ替える）
- ☐ めがね・コンタクトレンズ
- ☐ 毛布



※乳幼児やお年寄りがいる場合など、各家庭に必要な物は変わります。家族で話し合って準備しましょう。

ハザードマップを確認する

危険な場所を災害の種類別に色分けして示した地図をハザードマップといいます。自宅や避難先などの周辺と避難ルートにどんな危険があるか調べておきましょう。



市HP

避難先を確認する

避難所に地域指定はありません。自宅以外にも、勤務地などで被災した場合を考えて、最寄りの避難所を確認しておくことが大切です。



マイ・タイムラインを作成する

タイムラインとは、災害時の行動を時系列に整理した防災行動計画のことです。いざというときに慌てず適切な避難行動ができるよう作成しておきましょう。



県ホームページ

「もしも」に備えて、今できること。
風水害から身を守るために

近年、地球温暖化の影響で、大型の台風や豪雨による洪水被害や土砂災害が多発しています。地震や津波などの突発型災害と違い、風水害などの進行型災害は気象情報などから早めに準備や避難ができます。風水害から身を守るために、事前の備えに取り組んでみましょう。

問合せ／危機管理課 防災係（☎278111）

災害情報はこれで確認！

電話対応サービス

☎ 0800-200-2722

防災行政無線の放送内容を確認できます。通話料はかかりません。

戸別受信機

屋内で防災行政無線の放送を聞ける戸別受信機を無償で貸与しています。

ご希望の方は危機管理課防災係（☎ 27-8111）へお問い合わせください。

※戸別受信機の乾電池は定期的に交換しましょう。

電話通知 F A X 送信

視覚や聴覚に障がいがある方を対象に、防災無線の放送内容を電話や F A X により音声や文字で伝えます。ご希望の方はお問い合わせください。

問合せ／危機管理課 防災係
（☎ 27-8111）
F A X （27-8234）

アプリ・メール

- 市公式 LINE
- 市登録制メール
- おおいた防災アプリ
- 県民安全・安心メール



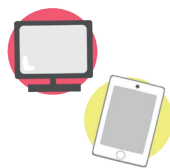
市 H P

災害が迫ったとき、一人でも多くの命が助かるためには、皆さんの心がけが最も重要です。「もしも」を考えて災害に備えましょう。

災害の発生時にとるべき行動を知ろう！

テレビやラジオなどで最新の災害情報を確認する

気象情報や避難所の開設情報などをこまめに確認しましょう。ネットニュースや SNS の誤った情報に注意し、信頼できる情報かどうか冷静に判断しましょう。



家族や親戚の安否を確認する

災害が発生すると、電話の回線が混雑し、つながりにくくなることがあります。災害用伝言ダイヤル（☎ 171）や災害用伝言板（web171）も活用すると、安否確認ができます。

危険な場所には絶対に近づかない

水位を確認しようと増水した川や用水路に近づくことは、とても危険です。道路が冠水している場合などは足元が確認しにくいいため、転倒や転落の恐れがあります。いつも通っている道でも油断せず、危険な場所には近づかないようにしましょう。

避難警戒レベルを確認して安全な場所へ避難する

警戒レベルとは、避難情報を示す数字です。子どもや高齢者と避難する場合は、移動に時間がかかることがあるため、警戒レベル 3 が発令されたら非常用持ち出しバッグを持って安全な場所へ避難を始めましょう。



警戒レベル	避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保	命を守る
警戒レベル 4 までに安全な場所へ必ず避難！		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	高齢者など避難
2	大雨・洪水・高潮注意報	避難方法を確認
1	早期注意情報	最新情報に注意

避難が困難なときは無理に移動しない

小学校や公民館だけが避難先ではありません。避難先へ移動する途中で危険に巻き込まれる可能性もあるため、災害警戒区域から離れている場合や避難が難しい場合は、自宅の 2 階以上に避難しましょう。

